

No.	608	自然のクラフト			
概要	自然物を組み合わせて、オリジナル作品を制作する。 (フォトフレーム、葉っぱのスタンド、ストーンペイント、流木アートなど)				
内容	人数(人)	~40人	時間	2~3時間	
	対象	幼児以上	時期	通年	
	場所	創作室【第1・第2】			
	指導形態	自主活動 ・ 事前の説明のみ ・ 直接指導			
安全管理	引率者と担当職員による観察・指導				
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> ○ 自然物を使った制作活動を通して、自分なりの工夫や表現で制作することの楽しさや喜びを感じる。 ○ 互いの作品の工夫や表現を共有する。 				
準備	施設から貸出	【各グループに貸出】 ・工具 … カッター、のこぎり、ナイフ、はさみ、ダンボールカッター、ニッパー、ラジオペンチ、きり、グルーガン ・画材 … アクリル絵の具、バケツ筆洗い、色鉛筆、油性ペン、木工用ボンド			
	各自に貸出	【各自に貸出】 ・筆 ・ペーパーパレット ・軍手(大人用/子ども用)			
	団体で準備	・教材 … 自然物(落ち葉、木切れ、木の実、木の葉、種子、石、貝殻、流木 など) ・画材 … ダンボール、画用紙など(必要に応じて) ・いれもの … 袋または箱(採取した教材や作った作品を持ち運ぶ用)			
	確認事項	【事前に相談】 ・教材の調達方法(事前に採取して持参/研修前に施設周辺で集める)。 ・活動のねらいに合わせて、どんな材料と道具を使用するか。			

	内 容	留意事項
活動前	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教材を準備する。 ・形や色など、気に入った自然物を集めておく。 ○ 担当職員との打ち合わせ ・安全管理 ・作業スケジュール ・片づけ、点検方法の確認 ○ 道具を準備する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全管理 ・引率者と担当職員が行う。 ・火傷等への配慮をする。 ○ 教材の採集について ・採取場所、採取物を工夫する。 (森、林、宍道湖、海岸、河川、など) ・事前に採取して持参するか、または当日に施設周辺を散策して採取する。
活動の説明	<ul style="list-style-type: none"> ○ 説明を聞く。 ・作るもの、作り方、テーマ など ・道具の使い方 ・安全上の注意 等 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 安全上の注意 ・道具を正しく使い、安全に活動する。 ・やけどや切り傷に注意。 ・グルーガン、のこぎりを使用する際は必ず大人が立ち会う。
展 開	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作 1)教材を観察 ・自然物の色や形などを観察して、創るものを決める。 ・集めた自然物の特徴(形や色)を生かして、創作する。 2)作業 ・パーツを切ったり、接着したり、塗装したりして、仕上げる。 ○ 片づけ、掃除 ・道具の返却、整頓 ・机、床、流し周辺の掃除 ○ ふり返り ・作品鑑賞 ・感想 ○ 研修室の点検、退室 ・椅子を机の上に並べる。 	<ul style="list-style-type: none"> ○ 制作のポイント ・集めた自然物を利用し、楽しく自由に思い思いの作品を作る。 ・研修のねらいに応じて、テーマを決めたり、共同制作に取り組んだりしてもよい。 ○ 片付けについて ・協力して、片づけと掃除をする。 ・持ち込んだ物のゴミは、持ち帰る。 ○ 作品鑑賞 ・出来上がった作品を見せ合い、それぞれの作品の制作過程で工夫した点などを発表しあう。